

事業場周辺における臨時健康相談実施状況

(10月31日10:00現在)

第1回 健康相談実施状況

局名(実施場所)	講演会	相談会	備考
兵庫(尼崎市)	120名	38名	8月22日
大阪(阪南市)	なし	28名	8月26日
神奈川(横須賀市)	94名	41名	8月29日
岐阜(羽島市)	130名	41名	8月29日
岡山(玉野市)	約140名(※)	70名	8月30日
佐賀(鳥栖市)	250名	21名	8月31日
奈良(橿原市)	70名	28名	9月5日
埼玉(さいたま市)	22名	8名	9月15日
香川(高松市)	60名	22名	9月12日
広島(呉市)	なし	13名	9月22日

※ 会場座席数から推定した数字(受付通らなかった参加者も含む)

第2回 健康相談実施状況及び予定

局名(実施場所)	講演会	相談会	備考
佐賀(鳥栖市)	なし	35名	9月29日
神奈川(鶴見区)	88名	25名	10月4日
兵庫(尼崎市)	60名	58名	10月5日
埼玉(秩父郡市)	20名	13名	10月19日
岡山(玉野市)	なし	20名	10月28日
奈良(橿原市)	なし		10月31日
佐賀(佐賀市)	なし		11月4日
大阪(泉南市)	なし		11月21日
広島(呉市)	なし		11月29日

石綿に関する健康管理等専門家会議報告書骨子（案）

I 序論

- (1) 背景：過去の石綿の使用量とK事業場の健康被害の発生について
- (2) 本専門家会議について：
- (3) 検討状況：

II 検討事項

1 住民の不安解消

- (1) Q&Aの公表及び相談窓口の役割
- (2) 臨時相談窓口・講演会の実施
- (3) 簡易自記式問診票の導入

2 住民の健康管理について

- (1) 健康管理における検診の位置づけ
 - 1) 検診の目的
 - 2) 検診の有効性：健診に伴うメリットとデメリット
- (2) 住民に対する検診の考え方
 - 1) 石綿暴露の機会：ばく露の機会にはどのようなものがあるか
 - 2) 検診対象者の選定：上記、ばく露をどのように把握するか
 - 3) 問診による石綿ばく露調査：問診による把握の仕方
- (3) 具体的な健診の進め方
 - 1) 石綿による環境汚染が疑われる地域を選定
 - 2) フローチャートに沿った検診を実施
 - 3) 専門家による読影
 - 4) 結果についての科学的な評価

(4) 地域および事業場における検診の実施状況

- 1) 熊本県旧松橋地区における取り組み
- 2) 他の自治体および企業の住民検診について

3 石綿健康被害の実態調査について

- (1) 現在までの石綿健康被害の把握状況
 - ・ 労災認定数
 - ・ 人口動態統計の死亡者数
 - ・ 経済産業省から発表されている職業別の死亡者数

(2) 今後実施される予定の実態調査について：

- 1) 人口動態統計を利用した中皮腫の死亡者調査
- 2) 現在治療中の中皮腫患者の情報収集

4 課題

- 1) 事業場が過去に使用していた石綿の種類と使用量の把握
- 2) 石綿関連疾患を診断できる医師の育成、研修
- 3) その他